

平成29年度「地域発！いいもの」上半期応募一覧(概要)

整理番号	県番号	都道府県	コーナー整理番号	取組名称	応募者	取組概要
01	2	青森県	01	地域と育てる明日の技能者育成事業(景観スポットリメイク事業)	ものづくりでまちづくり実行委員会	地域に貢献する職業訓練を展開するため、景観スポットリメイク事業と題し、地域住民と交流しながら、青森県むつ高等技術専門校がもつ職業訓練の知識や技能を活かし、大湊地区の特徴ともいえるわき水や坂道といった景観資源のリメイクを実施する。
02	4	宮城県	01	害獣撃退装置 逃げまるくん	小野精工株式会社	実用新案「害獣撃退装置」を発明家 安部正氏より権利譲渡を受け、平成27年4月より安部氏が実用新案登録した装置をさらに改良、広角にし、レーザー光線が害獣の視野に入るよう開発。新たに改良した装置を「害獣撃退装置(逃げまるくん)」として実用新案・商標登録をする。全国で製品化したのは国内初で、全国から注目され問い合わせが殺到している。その効果はモニター調査により実証済で殆どの害獣が近寄って来ない。本装置はレーザー光線が常時照射され、その範囲も広く、安全でこれまでの電気柵よりも安価で革新的な装置である。
03	6	山形県	01	墓地景観創造研究会	墓地景観創造研究会	墓地(お墓)を景観という視点でとらえ直すことで見えてきた石の文化を創造する取組で、お墓を作る際に周囲との景観との調和を考慮した墓石を提案する寺院緑化プランニングや、地域の風土や景観に合う地元の石材を使用した「墓石」のデザイン・景観デザインのワークショップの実施のほか、古くから繋がる精神風土に根差した石のモニュメントの製作や地域の寺社の石段・石垣などの修復を手掛ける中で技能の伝承に努めるなど、「石」にまつわる多様な事業を実施し、地域の産業の振興や石材技能の伝承・人材育成に取り組んでいる。また、志をもって仕事を提案できる感性力をつけるための研修に励み、本活動の中で制作された「石工芸作品」は県の美術展に出展して高い評価を得ている。
04	12	千葉県	01	真空保存容器の製造・販売の展開	ロイヤルエンジニアリング株式会社	【真空保存容器との出会い】 ・昨年千葉県内の研究開発企業であるハジー技研(株)が開発した真空容器(個体用)の特許専用実施権許諾契約を締結した。 【真空保存容器の強み】 ・従来市販されている真空容器との大きな違いや、おおよそ次の点である。 A 袋に差し込んだポンプを引くだけで、繰り返し何度でも真空にすることができる。 B 従来の真空容器より真空度が高い(より長期的に酸化防止ができる)。 この容器の開発・製造については、弊社周辺の金型製造企業・研究開発企業の協力を得て成立しており、周辺のものづくり産業の活性化にも貢献していると言える。
05	13	東京都	01	ド・ボーン1000開発プロジェクト	超小型深海探索機 ド・ボーン1000開発プロジェクト	葛飾区の小規模企業5社の技術を集結し水深1000mの実用に耐える安価な小型深海探査機開発製造販売を目指す。 耐水压2000mの小型(16cm 肉厚6mm)ガラス球(半球)を設計、開発し、この中にライトと4台の改造した市販超小型ビデオカメラ、制御、通信システムを光ケーブルでつなぎリアルタイムに送信し地上モニターで水深1000m深海の様子をみることができると今までに無い新企画のフリーホール型小型、軽便、今までにない超安価な深海探査機が可能となり葛飾区内の小規模企業5社と東京理科大学、葛飾区の産学官連携で開発を進め短時間での製品化を目指し市販を計画している。葛飾区町工場の技術力、知名度を上げ、新しい市場創生など活性化につなげる。
06	13	東京都	02	「下町サミット」(更新版)	下町サミット準備委員会	東京の経営者同士が集い、深い交流、有益な情報交換、顔の見えるネットワークを作る異業種交流会。23区各区の若手経営者グループが中心となり23区全区での開催を目指す。23区の壁を越え、若手経営者の経営力向上を図ることによって、23区中心の中小企業及び地域産業の活性化を目指すのが目的。
07	16	石川県	01	石川の伝統的建造技術を伝える会	石川の伝統的建造技術を伝える会	石川県内における伝統的建造物復元に係る専門工事業の諸団体と連携して、伝統的建造物復元に関する情報収集、記録保存、情報発信、技術の習得・継承及び後継者の育成、技能の重要性・必要性への理解促進と技能振興機運の醸成を図るため、一般県民を対象に毎年伝統的建造物の見学を含むセミナーを実施し、啓発に努めている。
08	20	長野県	01	信州 匠の時計修理士検定	長野県時計宝飾眼鏡商業協同組合	機械式腕時計の修理技術は、町の時計修理職人により受け継がれてきたが、水晶時計という技術革新により、修理技能者が激減することに危機感を持った長野県時計宝飾眼鏡商業協同組合は、独自の「機械式時計修理技能評価実施規定及び技能評価試験基準」を策定し、平成16年に長野県が創設した「技能評価認定制度」第1号の認定を受け、機械時計の機能・構造・分解掃除・故障修理・時間調整等に関する知識技能の講習会及び技能評価試験を実施し、高度な機械時計の修理技能者の育成、技術・技能の継承に取り組んでいる。
09	34	広島県	01	スニーカーコレクター専用のプレミアム額	東洋額装株式会社	「表装」という伝統技術を広く世間に周知する方策について、中小企業や創業者を支援する福山ビジネスサポートセンター(Fuku-Biz)に相談したところ、従来の概念にとらわれない商品の開発にたどり着き、「スニーカーコレクター専用のプレミアム額」を製作しました。 「額」は、書画のような平面的なものを飾るという固定概念を覆し、立体的なものを飾る画期的な「額」です。他の職種においても、既存の概念にとらわれない新たな発想が、技能者の場を広げるといった前例となる取組みです。
10	39	高知県	01	高知のエジソン(垣内 保夫)賞	一般社団法人 高知県工業会	高知のエジソンと言われた、故垣内保夫氏の遺志を受け継ぎ「青少年のものづくりへの意識を育てる」為に、平成16年10月に「高知のエジソン(垣内保夫)賞基金」が創設されました。 以降、小中学生を対象とした「君たちのすばらしい夢を教えて」、高校生を対象とした「次代のエジソン」、教員を対象とした「地域のものづくり先生」の3つの顕彰制度により、高知県内のものづくり教育の啓発普及に大きく貢献しております。
11	43	熊本県	01	石橋技術者養成講座	一般社団法人 石橋伝統技術保存協会	通潤橋(国重要文化財)をはじめ、国内には2000基近くの石造アーチ橋があります。その多くが撤去されていることを憂い、石橋の持つ優れた機能と分化の価値を守るため、技術的な保存活動を行っています。 日本に唯一残った、江戸期から続く石橋架橋に特化した石工集団の技を継承し、活用するために、座学・研修・実習の講座を毎年実施しています。本年度は熊本地震で被災した石橋の復旧に講座修了者が参加し、活用段階に入りました。また、講座修了者が資格認定試験を受け、能力を証明し、社会的立場を得るための教育も併せて実施しています。